

～ こんにちは！東北農政局です～ (第31号：令和6年8月)

食品産業ニュースレター

こんにちは、東北農政局です。8月31日は「野菜の日」。農林水産省ホームページでは、「今週のお手頃野菜」や野菜を使ったレシピを紹介しています。いつもより意識して、食事に野菜を取り入れてみませんか。

●お知らせ1

「第1回加工食品輸出クラスター組成のための食品製造事業者等向け勉強会」を開催しました

東北農政局は、加工食品輸出クラスターの新規組成を目指すとともに、輸出を行う食品製造事業者の裾野拡大を目的として、令和6年7月30日(火)に「第1回加工食品輸出クラスター組成のための食品製造事業者等向け勉強会」を開催しました。

＜議事＞

第1部 加工食品の輸出について

- (1) 海外における日本産加工食品の状況・ジェトロの輸出促進支援について
- (2) 輸出商社から見た加工食品輸出について

第2部 加工食品輸出クラスターの組成について

- (1) 「加工食品輸出クラスター」の組成による加工食品の輸出促進について
- (2) 加工食品輸出クラスターからの取組事例紹介

- ・秋田県加工食品輸出拡大協議会
- ・石巻食品輸出振興協議会

第3部 質疑応答

▼ 第1部の模様



▼ 第2部の模様



＜加工食品輸出クラスターとは＞

- 加工食品の輸出にあたって、特に中小規模の製造事業者においては、ノウハウ不足や資金面・人材面での課題があり、単独で輸出に取り組むことが難しい場合があることから、地域の同業種もしくは異業種の事業者が連携し、行政や支援機関などの支援を受けながら地域のブランドとともに輸出に取り組む体制。

輸出拡大に向けた加工食品輸出クラスターによる活動事例

- 共同での国内外の展示会への出展、海外バイヤーの招聘
- GI、地域団体商標の取得等ブランド確立に向けた取組
- 輸出コンテナの混載や共同輸送
- 海外ニーズ・規制等の情報共有

詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/kakou_yusyutu/index.html#benkyoukai



●お知らせ2 令和5年度食料自給率・食料自給力指標を公表しました

農林水産省は、令和5年度食料自給率及び食料自給力指標を公表しました。カロリーベースは前年度並みの38%、生産額ベースは前年度比+3ポイントの61%となりました。

令和5年度食料自給率・食料自給力指標

(1) 食料自給率

カロリーベース: 38% (前年度比: ±0%)
生産額ベース: 61% (前年度比: +3%)

(2) 食料自給力指標

米・小麦中心の作付け: 1,752kcal/人・日
(前年度比: +16kcal)
いも類中心の作付け: 2,362kcal/人・日
(前年度比: -24kcal)

(参考) 東北の県別食料自給率(令和4年度概算値)

	カロリーベース(%)	生産額ベース(%)
青森県	116	216
岩手県	106	180
宮城県	69	81
秋田県	196	128
山形県	145	165
福島県	75	79

詳細はこちら

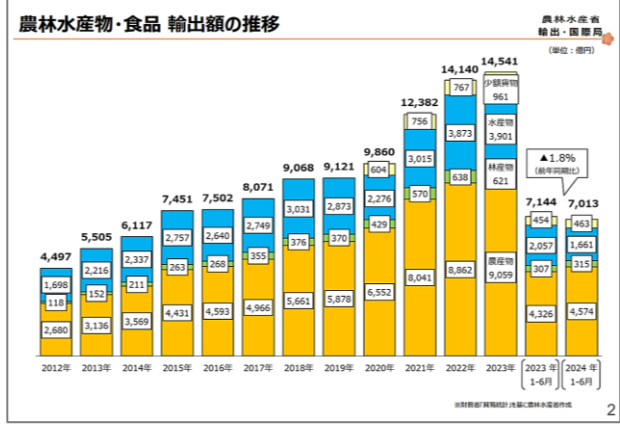
<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/240808.html>



お知らせ3

2024年1-6月(上半期)の
農林水産物・食品の輸出実績について

農林水産省は、「2024年1-6月(上半期)の農林水産物・食品の輸出実績」を取りまとめました。2024年上半期の農林水産物・食品の輸出額は、7,013億円となり、2023年同期比では▲1.8%、額では132億円の減少となりました。



2024年の農林水産物・食品 輸出額(1-6月) 品目別

品目	金額(百万円)	前年同月比(%)
加工食品	256,782	▲2.9
アルコール飲料	66,820	▲4.7
日本酒	20,412	+1.9
ウイスキー	25,300	▲15.1
酒類(その他)	894	+7.0
ソース混合調味料	29,793	+21.9
液状飲料水	28,496	+4.4
菓子(米菓を除く)	14,835	+5.6
菓子	5,788	+21.8
味噌	3,031	+22.8
味噌(あられ・せんべい)	2,016	+10.2
畜産物	65,095	+4.2
牛肉	49,735	+2.9
豚肉	26,203	+7.7
牛乳・乳製品	15,934	▲5.6
鶏肉	3,404	+14.5
魚肉	1,152	+12.0
魚類	1,042	▲18.1
野菜(生鮮野菜)	34,312	+11.6
野菜(加工野菜)	5,528	+32.8
野菜(冷凍野菜)	28,880	+5.1
果実	17,660	+2.9
りんご	6,547	+4.5
いちじく	4,339	▲8.6
ぶどう	1,601	▲2.7
かんきつ	1,502	+20.8
かんきつ	760	+31.5
その他	812	+11.6
水産物	537	▲4.2
かき	279	+54.5
ほたて	73	▲2.0

<全体の状況(1-6月)>

- 中国及び香港向けの輸出実績は、昨年夏のALPS処理水放出以降、対前年同期比で減少傾向となっているところ、本年1-6月累計でそれぞれ▲43.8%、▲10.5%となった。一方で中国及び香港以外の国・地域を合計した場合、+14.3%とプラスになっている。
- 関係者からの聴き取りによると、とりわけ欧米では昨年上半期と比べてインフレが緩和され、アジア向けも含めて外食需要や、小売店・EC向けの販売も引き続き堅調だったことに加えて、円安により海外市場での競争環境が改善し、農産物の多くの品目で輸出額が伸びた。
- 品目別の輸出額では、ソース混合調味料及び緑茶は欧米向けが堅調に伸びた。一方で、水産物は中国向け中心に減少した。
- 国別では、中国及び香港向けが低調である一方、その他は欧米中心に堅調。

詳細はこちら https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/240802.html

お知らせ4 「令和5年度東北食料・農業・農村をめぐる事情」を公表しました

東北農政局では、東北の農業の特徴や現状、東北農政局の取組等を取りまとめた「令和5年度東北食料・農業・農村をめぐる事情」を作成しました。東北の生産者の方々の取組を交えながら分かりやすく記載しておりますので、この機会にぜひご覧ください。

<目次>

- 第1章 東北農業の特徴
- 第2章 東北農業の現状、東北農政局の取組状況
 - 1. 東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組
 - 2. 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策、生産基盤の強化、需要拡大の推進
 - 3. 2030年輸出5兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化、食品産業の強化
 - 4. 環境負荷低減に資する「みどりの食料システム戦略」の推進
 - 5. スマート農業とデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
 - 6. 食の安全と消費者の信頼確保
 - 7. 農地の効率的な利用と人の確保・育成、農業農村整備
 - 8. 農山漁村の活性化
 - 9. 近年の自然災害への対応
- 参考 表彰実績

詳細はこちら <https://www.maff.go.jp/tohoku/press/kikaku/240731.html>